

磐城時報

日刊 五廿夕
編輯部 石城郡平町新屋町十四
印刷部 石城郡平町新屋町十四
發行部 石城郡平町新屋町十四
電話 一四四一
代用教員 一四四二
印刷部 一四四三
電話 一四四四
電話 一四四五
電話 一四四六
電話 一四四七
電話 一四四八
電話 一四四九
電話 一四五〇
電話 一四五〇

石城郡の春蠶は

成績極めて良好

養蠶同業成田技手談

石城郡内の蠶況は經過非常に良桑葉は多少余裕がある見込で蠶好で桑の發育もよこの分ではをたくよりも桑を賣るため蠶を本年の收購額は豫想以上の増收掃立てなかつたものがありこのであらうと言はれてゐるが石城郡の人達は大打撃を被るであらうと思はれる、今の處で郡内の目下郡内蠶況を實地に視察する蠶況は申し分がない。云々」

石城の田植

「山の手方部即ち山田、田人上遠野、入遠野各村は目下二眠の麥作状況は過般の降雹結霜で起から三眠にかつたのが早い一部に僅かな被害を見たが、大もので一般に平均してゐる、そした事なく水稲苗代の病虫害もして氣候不順にも拘はらず桑葉 郡農會及び各町村農會が極力豫の發育は良好で蠶況極めてよい 防法を講じ徹底的に撲滅を計つ山の手方部は昨年から見掃立たため發育良好で来月初旬頃一枚数は一割方の減を示して居り、は田植の運びに至るであらうと

磐炭の電化計画

東電との契約成る

供給を仰ぐ二万キロの電力 磐炭の一大改革

磐城炭礦では過般東京電燈會社行つてゐるが同所のみでは常に對し電力の供給方を交渉中で電力の不足を生じつゝある折柄あつたが此程東京電燈は洪水期とて今回の契約は磐城炭礦にと以來の餘剰電力消化法として同つては一大改革であるのみならず炭礦との供給契約成立 愈々鐵管今後礦内の排水等には非常な業電化に着手することゝなつた威力を示す者でしかも常磐方面現在同炭礦は平町に發電所をたの石炭埋量は四億五千萬噸と稱き會社管理の下に電力の供給をせられ近き將來に於て消化すべ

教育講習會

石城郡第三區教育事務協議會で代用教員並に准教員に對する

玉川村一部落に理想郷が出現

農村疲弊の聲は各所に叫ばれ農家經濟生活の改善は農村振興の最も緊急な問題とされてゐるが、石城郡玉川村字島上農事實行組合は大正十年組合の設立を見て以來五ヶ年を一期として共同耕作農事共済事業の計劃を立て現在では組合戸數九戸組合員男女共を合して四十五人島上部落を單位とし共済事業としては毎年春秋二回に抽籤で組合當番を定め當番者は無報酬で組合員の田畑地内の耕作手入れ言つた労働を提供し組合員全部は相互扶助の精神によつて理想郷の達成に努めてゐるが現在では耕作面積十四町歩に及び共同貯金の如きも大正十五年末六百八圓三錢を數へ成績極めて良好で石城郡農會でも之が具体的方策の一つとして専心指導の任に當つてゐる、なほ同組合は別動隊として婦人會を組織し十三名の會員は正月元

講習として来る六月十三日から十六日迄四日間毎日午前八時から午後四時まで第一小學校内に教育學、教授法の講習會を開く筈であるが、講師は本縣視學小池藤八氏で會費一圓である

文福茶釜公開

東京兒童教育研究會理事新妻治郎氏は二十五日磐城高等女學校、二十六日磐城中等學校、二十七日には第一、第二兩小學校で茂林寺の文福茶釜を展覽せしめる由であるが、二十七日午後六時からは平劇場下足料十錢で一般に公開し薩摩琵琶やハルモニカの余興がある

外聞が悪くて 通れない私娼街 心ある人眉をひそむ 平署で私服刑事を忍ばす

平町の間に咲く私娼窟は川岸通シ檢舉する事となつたが、附近に並に南町を根城とし四十餘軒に居住する飲食店以外の人々は連ね夕刻から夜にかけては子弟の教育にも困つた事だと泣き八十余名の脂肪の白首女が格子先から學生たる老人たるを問はず「ちよいとちよいと」と呼びかけて風紀を紊し心ある人をして眉をひそめさせてゐるが近來はこの種の飲食店が俄かにその數を増したのと極度の不景氣で客足が少くない處から主人は女に命じて禁を破つて道路に出張らせ客の誘引に血眼の競争を行はせてゐる、即ち百鬼夜行はかくやとばかり一般民は外聞が悪くてうかつかり附近を通る有様、態々迂迴の道を通る人々へあり通行人の迷惑一方ならす恰かも無警察状態に陥つてゐる、而して萬ヶ一登樓でもすれば注文外の酒肴を強ひられ法外金の金を取り取られる等際立つて醜行甚だしくなつて來たので平署でも捨て、たけすとなし毎夜に私服刑事數名を忍ばせて警戒させ違反行為のあつた者はドシンド

桑園品評會

夏井村養蠶組合では二十七日午前九時から桑園品評會を開く筈で審査員は成田技手である

海軍記念日に 平各校の催はし

来る二十七日は第二十四年目の海軍記念日であるが、平署では當日例によつて一千余の健兒全郡が午前八時校庭に集合草野村間の往復マラソン競走を行ふ。平商業學校では反對の方向競走の往復マラソン競走を行ふ。又警女校では平海軍團に依頼し講話をなし、平第一、第二兩校では校長の日本海軍戦に關する講話後月次運動會を催はす筈である

養女家出

小名濱町古港平子つる養女は(二二)は去る一昨年十月無断家出し東京市青山四丁目なる某家に女中奉公をしてゐる事を知り二十四日平署に説諭方を願ひ出た

「猫八」で 平劇場満員

眞向ふから、江戸つゝ見八猫八でござなりつけ観客をヤンヤと言はせる猫八が愈々引退の御

吉野谷鑛泉にて 飯村 閑舟

時恰も初夏、新緑に滴る山間僻地の飯野村吉野谷鑛泉に知人某を訪問し病患の幾らか治癒に傾きしを聞き溜飲を下げ山つゝの点検として咲き誇るチャールミングさに清爽として歸路をさる

縣でも大賛成の 大野農會の計劃

石城郡大野村農會では過般の總たが二十四日認可された、この會で「基本財産から生ずる収入計劃は縣外各地に亘つて叫ばれて以て農會の經常費を支出し得てゐる農會無用論、對し非常な用せざる事」を決議し同會則に町村農會にこの例を示しその方を加へた會則變更方を縣に申請し法實行を勧誘せんとしてゐる

目見得として昨晚から平劇場に開演した。東京でなければ見られなかつた「世界の珍鳥」としての猫八と見逃がすまいとして非常な方、既にすつと以前の座席の申込があつた程で開演前に満員の盛況を示した。そして猫八の鳴き分けや彼獨特の即席問答は當夜の呼喚で、質問されて答辭に困つたなら白米一俵を提供するといふ懸賞附、観客はあらゆる限りの智慧を絞つて猫八を困らせやうとしたが、彼は縦横無盡に之を切りぬけ客はその巧みに開いた口が塞がらぬ有様、猫八の外に自轉車曲乗の名人東洋義竹氏、江戸生輝の音曲家桂やの字の音曲手踊等さすがの平劇場も空前の大入を見た事も無理からぬ事である、尚ほ二日目の今晚も定めの大入を占める事であらう。

目見得として昨晚から平劇場に開演した。東京でなければ見られなかつた「世界の珍鳥」としての猫八と見逃がすまいとして非常な方、既にすつと以前の座席の申込があつた程で開演前に満員の盛況を示した。そして猫八の鳴き分けや彼獨特の即席問答は當夜の呼喚で、質問されて答辭に困つたなら白米一俵を提供するといふ懸賞附、観客はあらゆる限りの智慧を絞つて猫八を困らせやうとしたが、彼は縦横無盡に之を切りぬけ客はその巧みに開いた口が塞がらぬ有様、猫八の外に自轉車曲乗の名人東洋義竹氏、江戸生輝の音曲家桂やの字の音曲手踊等さすがの平劇場も空前の大入を見た事も無理からぬ事である、尚ほ二日目の今晚も定めの大入を占める事であらう。

